平成２７年度事業報告書

第１　子ども・若者の自主性・社会性の伸長と自立の促進

①　少年の主張佐賀県大会事業

次代を担う子どもたちに、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に付けることが大切であり、これらの契機となることを願い実施した。

・日　時　　平成 27 年 8 月 23 日（日）13：30～16：30
・場　所　　アバンセホール（佐賀市）
・共　催　　県、県教育委員会と共催
・結　果　　学校内応募者数 731 名　　被推薦者数　53 名
　　大会参集者数　 230 名
・最優秀賞　小村　聡美　佐賀清和中学校 2 年　題名「ありのまま」
・優秀賞　　武富　咲良 みやき町立中原中学校 3 年　題名「言霊」
　　坂本　晃　 県立ろう学校中学部
　　題名「知ってほしいこと　自分にもできること」
・優良賞　　飯田　恭加外 6 名（別添名簿）
・全国大会　期日　平成 27 年 11 月 8 日（日）13 時～16 時
　　場所　国立オリンピック記念青少年総合センター
　　主催　独立青少年教育振興機構

②　顕彰事業

日常地域で、地道にしかも優れた活動を展開している青少年、青少年団体・グループ、青少年指導者、青少年育成団体など顕彰要綱に基づき表彰を今年度は各団体からの推薦がなかった。

③　新春読書感想文コンクール事業

県立図書館ほか関係機関・団体と共催して小・中・高校生及び一般の方の読書の習慣化を図るとともに、豊かな人間性や考える力を育む。

広報紙（No115（27 年 11 月））で募集を行った。

・応募締切日　平成 28 年 1 月上旬(一般 1 月 8 日（金))
・応募者数　　38,164 件

小学校　26,502 件　　中学校 8,459 件
高等学校　3,187 件　　一般　　16 件

・表彰式　　平成 28 年 2 月 25 日（木）15 時～

・県民会議会長賞　小学校、中学校、高等学校、一般の各部 1 名に授与した。

・受賞者　小学校の部　　山領　彰さん（佐賀市立勧興小学校 6 年）
中学校の部　　宮地　亮太朗さん（鳥栖市立鳥栖中学校 1 年）
高等学校の部　納富　晴美さん（佐賀県立小城高等学校 2 年）
一般の部　　嘉村　正司さん（佐賀市）

第２　子ども・若者の育成支援に対する親・大人・社会の意識啓発の促進

①　「家庭の日」運動の推進事業

毎月第３日曜日を「家庭の日」とする運動を推進するため、広報紙「青少年さが」やホームページを活用して、啓発活動に努めた。

広報紙(No114（27 年 7 月）,No115（27 年 10 月）,No116（28 年 3 月）に掲載した。

②　子ども・若者育成支援強調運動事業

夏、秋に「子ども・若者育成支援強調月間」を設定し、期間中に広報活動を展開し、広く県民の子ども・若者育成支援に対する理解と実践活動を促した。

（ア）「夏の子ども・若者育成支援強調月間」

・期　　間　　平成 27 年 8 月 1 日（土）～31 日（月）

・広報啓発　　チラシを作成し、関係機関に配布し、市町、市町青少年育成市町民会議の広報紙による啓発を依頼した。
また、広報紙(No114（27 年 8 月）に掲載し、普及啓発を行った。

（イ）「全国子ども・若者育成支援強調月間」

・期　　間　　平成 27 年 11 月 1 日（日）～30 日（月）

・広報啓発　　チラシの配付

・事　　業　　期間中に「子ども・若者育成支援、非行防止県民大会」を開催

③　「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進事業

〇子ども・若者育成支援ネットワーク会議の開催

各分野における子ども・若者育成支援関係者が、幅広い活動、多彩な人材でのネットワーク化を図り、連携・協力を深めることにより、地域ぐるみの育成活動の充実を図った。

・各分野における子ども・若者育成支援関係者の連携強化を図るため、県内２地区（みやき町、上峰町）でネットワーク会議を実施した。

みやき地区　開催日時　平成 27 年 12 月 18 日（金）14 時～16 時
開催場所　みやき町コミュニティーセンター「こすもす館」
参加人員　20 名（町民会議、中学校生徒指導教諭及び PTA、民生委員・児童委員、婦人会、少年補導員、公民館館長等）
内容　・各団体の活動状況の報告及び質疑応答
・講話「青少年の薬物乱用防止について」
鳥栖警察署　生活安全課長　吉村　史　氏

上峰地区　開催場所　平成 27 年 12 月 22 日（火）14 時～16 時
開催場所　上峰町町民センター
参加人員　13 名（中学校生徒指導教諭及び PTA、民生委員・児童委員、婦人会、少年補導員、公民館館長等）
内容　・各団体の活動状況の報告及び質疑応答
・講話「青少年の薬物乱用防止について」
鳥栖警察署　生活安全課長　吉村　史　氏

④　広報啓発活動の推進事業

（ア）「ひまわり講座」の実施

小・中学校に講師を派遣し、小・中学生、保護者（大人）を対象に携帯電話・インターネットによる有害情報の対処法などの講演を通して、スマートフォンなど日々進化し急速に普及しているネット環境の中で、子ども・若者のインターネットを利用してトラブルや

犯罪被害から若者を守るとともに、家庭や学校などの取り組みを喚起し一層の機運醸成を図った。

・実施期間　　平成 27 年 4 月～平成 28 年 1 月
・受講対象者　　児童、生徒、保護者、地域住民など
・開講予定箇所　希望する小・中学校の約 50 カ所
・講座内容　　「子どもたちを有害情報から守るために」をテーマに講演
・講師　　(財) マルチメディア振興センター、NTT ドコモ、KDDI
・平成 28 年 3 月 29 日末現在の状況

実施学校	
学校数等 79 校 1 団体	小学校　52 校　中学校　27 校　他 1
受講者数 14,172 名	児童生徒 10,978 名　保護者 1,633 名 教職員等 1,561 名

(イ)広報紙「青少年さが」の発行

子ども・若者育成支援運動に関する各種の情報の収集、提供に努めるとともに、広報啓発のため機関紙「青少年さが」を発行した。

・発　行　　年３回
・部　数　　約 3,　２00 部
・発行月　　8 月、10 月、3 月

発行年月日	号数	発行部数	頁数	主な内容
H27 年 8 月	114 号	3,200 部	4 頁	○会長のことば○県民会議の総会及び26年度決算並びに 27 年度予算○37 回少年の主張の開催予告等
H27 年 10 月	115 号	3,200 部	6 頁	○37 回少年の主張の受賞者名及び最優秀賞作品○未成年者喫煙防止街頭キャンペーン○基山町青少年育成町民会議の事業紹介○新春読書コンクール募集○27 年度賛助会員の一覧（企業・団体）

発行年月日	号数	発行部数	頁数	主な内容
H28年3月	116号	4,700部	4頁	○27年度佐賀県青少年を取り巻く有害情報対策推進フォーラム○27年度地域環境点検活動の結果○玄海町青少年育成町民会議の事業紹介○27年度薬物乱用防止講演会等

・配布先　　賛助会員、公民館、小・中・高等学校、市町、青少年育成市町民会議、県民会議会員（構成団体）、子ども・若者育成支援団体等

（ウ）ホームページによる情報発信

県民会議事業・予算・決算のほか、子ども・若者育成関係の情報提供や啓発を行った。

第３　子ども・若者の非行防止と社会環境の浄化・整備促進

①　「子ども・若者育成支援、非行防止県民大会」開催事業

県民や子ども・若者育成支援関係者及び警察関係者が一堂に会し、次世代を担う子ども・若者が、心豊かにたくましく成長できるよう全ての大人が子ども・若者育成支援、非行防止取り組みの決意を新たにする機会として、「全国子ども・若者育成支援強調月間」に県民総ぐるみによる県大会を開催した。

・日　時　平成27年11月23日（月）13：30～17：00
・場　所　武雄市文化会館小ホール
・参加者　約２８０名
・内　容　基調講演「子どもの貧困について」
　　講師　NPOスチューデント・サポート・フェイス
　　代表理事　谷口　仁史　氏
・パネルディスカッション演題「生活困窮者の自立支援について」
　　コーディネーター　谷口　仁史　氏
　　パネリスト　平野　善久氏（佐賀県地域福祉課生活保護・援護恩給担当主査）

パネリスト 井原　敦弘氏（公益社団法人佐賀県社会福祉士会・佐　賀県生活自立支援センター相談３課長）
パネリスト 田中　裕子氏（グリーンコープ生活協同組合さが理事長）
・大会宣言　　朗読者武雄市青少年育成市民会議会長　山下　俊元氏
・共　催　　佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県警察本部、佐賀県青少年育成県民会議

②　地域環境点検活動事業

子ども・若者にとって好ましくない環境の浄化改善のために、各青少年育成市町民会議の協力を得て、地域環境の一斉点検活動を実施する。

・時　期　11 月
・点検先　　コンビニエンスストア、インターネットカフェ、まんが喫茶、カラオケボックス、その他の店舗(スーパー)等
・点検内容　・成人向け雑誌の区分陳列、年齢の確認の有無
　　・青少年に対する利用時間の制限等の措置など
・参加者　　青少年育成市町民会議、青少年育成アドバイザー、子ども・若者育成支援指導者、少年補導員、PTA など関係者
・説明会　　平成 27 年 10 月 7 日(水) 9:30～（県正庁）
　　対象者：各市町担当課、各市町青少年育成市町民会議
・点検結果　〇点検個所　611
　　〇参加人員　約 410 名
　　〇青少年に対する点検先の配慮の状況
　　・大変良くできている。　594 箇所
　　・出来ている。　12 箇所
　　・出来ていない。　4 箇所
　　・全く出来ていない。　1 箇所

③　子ども・若者を取り巻く有害環境対策の推進事業

（ア）「未成年者飲酒防止、飲酒運転撲滅キャンペーン」及び「未成年者喫煙防止キャンペーン」を関係機関・団体とともに実施した。

○未成年者飲酒防止、飲酒運転撲滅キャンペーン
　日時　　平成 27 年 4 月 14 日（火）15:30～16:20
　場所　　JR 佐賀駅南口、北口及びバスセンター
　参加者　11 団体（県、県教育庁、県警察本部、福岡国税局、県小売酒販組合連合会等）
○未成年者喫煙防止協議会
　日時　平成 27 年 7 月 7 日（火）9：00～10:50
　場所　グランデはがくれ
　参加者　15 名（県こども未来課、県教育庁学校教育課、県警察本部少年課、福岡財務支局、県たばこ販売協同組合等）
　内容　各団体からの活動報告及び意見交換
○未成年者喫煙防止キャンペーン
　日時　平成 27 年 9 月 4 日（金）7:20～8;15
　場所　JR 佐賀駅南口、北口及びバスセンター
　参加者　15 名（県こども未来課、県教育庁学校教育課、県警察本部少年課等）

（イ）薬物乱用防止及び防犯ポスターコンクールの実施

佐賀県高等学校生徒指導連盟及び中学校生徒指導連盟と連携し、少年の薬物乱用防止と防犯意識の向上を図った。

・応募締切日　平成 28 年 1 月 15 日（金）
・応募者数　　薬物乱用防止ポスター　　154 件
　　防犯ポスター　　17 件
・発表　　佐賀県高等学校生徒指導主事連絡協議会で発表
　　（平成 28 年 1 月 28 日（木））
・県民会議会長賞受賞者
　薬物乱用防止ポスターの部（最優秀賞）
　　河納（かわの）　睦（ちか）さん（佐賀県立有田工業高等学校 2 年）
　防犯ポスターの部（最優秀賞）
　　山下　泰史さん（佐賀県立唐津東高等学校 1 年）

（ウ）　地区別薬物乱用防止講演会の開催

子ども・若者による薬物乱用の防止を図るため、薬物乱用の有害性、危険性を家庭、地域の大人に啓発し、子ども・若者の育成支援に資するため、3 地区で開催した。

○鹿島地区　　平成 28 年 2 月 5 日（金）19:00～20:00
・場所　　鹿島市「エイブル研修室」
・参集者　　62 名
・テーマ（共通）「青少年の薬物乱用防止について」
・講師　　鹿島藤津地区薬剤師会長　古川　博輝　氏
○唐津地区　　平成 28 年 2 月 12 日(金)　19:00～20:00
・場所　　唐津市「リフレホール」
・参集者　　140 名
・テーマ（共通）「青少年の薬物乱用防止について」
・講師　　唐津東松浦薬剤師会学薬担当理事　松本　直也　氏
○佐賀地区　　平成 28 年 2 月 19 日（金）19:00～20:00
・場所　　佐賀市「アバンセ研修室」
・参集者　　80 名
・テーマ（共通）「青少年の薬物乱用防止について」
・講師　　佐賀県薬務課麻薬・毒劇物担当　草場　潤一　氏

第４　子ども・若者育成支援指導者の養成促進

①　指導者養成の構築事業

青少年の育成支援に携わっている人達を指導する指導員を養成し、認定する制度を構築するため検討を重ねている。

②　指導者研修会の開催事業

地域における多様な人材を活用した地域ぐるみの育成活動を促進するとともに、子ども・若者育成支援のために直接かかわる指導者の養成に努め、指導力の向上を図り、また、その活動を支援した。

（ア）指導者研修会の開催
・時期　　平成 28 年 1 月 15 日（金）14：00～16：00
・場所　　神埼市中央公民館
・参加人員　254 名
・講師・演題
「スマホ社会の子どもたち」
NPO 法人子どもとメディア　秀島　晴美氏
「子どものネットトラブルについて」

NPO 法人 IT サポートさが　事務局長　浴本　信子氏

・参集者　　青少年育成市町民会議関係者、小中高校教職員及び PTA、青少年育成アドバイザー、青少年育成団体など

（イ）合同開催　「子ども・若者育成支援、非行防止県民大会」と合同で実施した。（再掲）

・時　期　　平成 27 年 11 月 23 日（月）13：30～17：00

・場　所　　武雄市文化会館小ホール

（ウ）合同開催　「地区別薬物乱用防止講演会」と合同で実施する。（再掲）

・鹿島地区　　平成 28 年 2 月 5 日（金）19:00～20:00

場所　　鹿島市「エイブル研修室」

・唐津地区　　平成 28 年 2 月 12 日(金)　19:00～20:00

場所　　唐津市「リフレホール」

・佐賀地区　　平成 28 年 2 月 19 日（金）19:00～20:00

場所　　佐賀市「アバンセ研修室」

第５　運動の活性化と充実強化の促進

①　市町民会議活動との連携事業

子ども・若者育成支援運動が成果をあげるため、地域住民の意識を盛り上げる必要があり、青少年育成市町民会議との連携を密にするとともに、その活動が充実されるよう支援した。

○市町民会議の活動助成

青少年育成市町民会議が勧誘して賛助会員になった方の会費を、当該市町民会議へ活動費として 3 割相当を交付した。

・交付先　　20 市町青少年育成市町民会議

・交付額　　422,000 円（10,000 円～115,000 円）

・交付年月日　平成 28 年 2 月 2 日（火）

○市町民会議事務局長会議

青少年育成市町民会議との情報交換等により連携を図り、子ども・若者育成支援を推進する。

日　時　平成 27 年 6 月 5 日（金）10：00～12：00

場　所　佐賀県立図書館会議室

参加者　13 名(13 市町)

内　容　・県民会議及び市町民会議の事業説明
・県民会議在り方検討報告書の説明
・質疑応答

②　各種指導者研修会の実施（再掲）

○子ども・若者育成支援ネットワーク会議の開催
各分野における子ども・若者育成支援関係者が、幅広い活動、多彩な人材でのネットワーク化を図り、連携・協力を深めることにより、地域ぐるみの育成活動の充実を図る。
・各分野における子ども・若者育成支援関係者の連携強化を図るため、県内２地区（みやき町、上峰町）でネットワーク会議を実施した。

③　広報啓発事業（再掲）

（ア）広報紙「青少年さが」の発行
子ども・若者育成支援運動に関する各種の情報の収集、提供に努めるとともに、広報啓発のため機関紙「青少年さが」を発行する。
・発　行　　年３回
・部　数　　約 3，200 部
・発行月　　８月、10 月、3 月
・配布先　　賛助会員、公民館、小・中・高等学校、市町、青少年育成市町民会議、県民会議会員（構成団体）、子ども・若者育成支援団体等

（イ）ホームページによる情報発信
県民会議事業・予算・決算のほか、子ども・若者育成関係の情報提供や啓発を行った。

第６　県民会議基盤づくり

①　関係機関・団体との連携事業

子ども・若者育成支援関係機関・団体との連携を密にし、関係事業に協賛、後援するなど子ども・若者育成支援の推進を図った。
【後援】
○日本の農山漁村への滞在型・交流型「ふるさとスティ」シリーズ事業
（認定 NPO 法人地球市民の会）
期間　平成 27 年 12 月 24 日（木）～28 日（月）

○平成 27 年度全国地域安全運動（佐賀県警察本部生活安全企画課）
期間　平成 27 年 10 月 11 日（日）～10 月 20 日（火）
○第 51 回九州地方更生保護女性大会（佐賀県更生保護女性連盟）
期間　平成 27 年 9 月 28 日（月）～9 月 29 日（火）
○少年ボランティア体験セミナー（佐賀地区 BBS 会、西九州大学 BBS 会
佐賀大学 BBS 会）
期間　平成 27 年 6 月 1 日（月）～平成 28 年 3 月 31 日（木）

②　賛助会員募集事業及び永年賛助会員に対する感謝状の贈呈事業

子ども・若者育成支援県民運動の推進に賛同し、支援・協力していただくために、青少年育成市町民会議とともに企業に出向くなど、広く賛助会員の募集に努めた。また、これまで長い期間協力いただいている永年賛助会員加入者に対し、感謝状を贈呈した。

【永年賛助会員に対する感謝状贈呈】
○個人の部（15 年以上）　内田　賢次（佐賀市）　吉木　靖範（多久市）
○企業・団体（20 年以上）伊万里信用金庫、小城市牛津町地区公民館分館長会、㈱サガテレビ、西福岡宇部コンクリート株式会社、㈱南佐賀自動車学校、㈱モトシマ、医療法人祐愛会
○企業・団体（30 年以上）㈱中野建設、佐賀県書店商業組合、佐賀県保護司会連合会

③　運営会議の開催等

（ア）平成 27 年度定期総会
平成 27 年 5 月 29 日（金）14：00～16：00　アバンセ研修室
（イ）平成 27 年度　理事会
第１回 平成 27 年 10 月 23 日（金）14：00～16:00 県特別会議室 A
第２回 平成 28 年 3 月 29 日（火）14：00～16:00 グランデはがくれ
（ウ）各部会の開催（合同部会）
総務部会、家庭・社会部会、教育・補導部会及び産業・勤労部会
平成 27 年 10 月 15 日（木）14：00～16:00　県特別会議室 B
（エ）監査
平成 27 年 4 月 28 日（火）14：00～15:30　県会議室１号